



上海師範大学老年大学から

横浜日中に“同理心”が送られる。

4月17日に上海師範大学老年大学日本語学科の呉老師、学生の協力でマスク1900枚余が送られて来ました。配分は、下記のとおりです。また、朝日新聞横浜総局の土屋記者の計らいで横浜版(4/24)に「協会の紹介」と併せて掲載されました。

<呉老師からの微信・4/16>

@山口副会長@こまつさき いさむ 今晚は！ 明日から全国緊急状態になるそうで、大変ですね。実は上海師範大学老年大学日本語学科の学生のみんなからの協力により、今日の午後横浜日中友好協会にマスクを1930枚送りました。順調に届けるように少し手続きを簡単に済むように個人的形でお送りいただきました。そして、お二人のほかに小澤さん宛にも送りました。先程運輸会社の友達からいいニュースが来ました。早ければ、明日届けられるそうです。本当に不思議ですよ。また、明日からは海外にマスクなどの防疫関係の物を送るのにもっと厳しくなるそうです。私達は運が良かったです。届いたらどうぞ役員の皆様や会員の皆様もお使いくだされば嬉しいですが。また、何かこちらができることがありましたら、どうぞご遠慮など連絡くださいませ！

朝日新聞・横浜版(4・24)

**福祉施設などに
マスク300枚寄付**
横浜日中友好協会

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、横浜日本中国友好協会(横浜市港北区)が、市内の福祉施設などにマスク約300枚を寄付した。マスクは、同協会が交流のある中国の大学から寄付を受けたものだ。

同協会は、上海師範大学で高齢者が学ぶ「老年大学」の日本語学科の教員と

学生から、マスクの寄付を受けた。その中から市内の介護老人保健施設と障害者施設、路上生活者を支援する「寿支援者交流会」に、マスク約100枚ずつを寄付したという。

同協会は、中国との民間交流を目的に1970年に設立。同学科とは短期留学プログラムなどで2017年から交流があった。国内で流行が本格化する前の1月には、同学科にマスク1800枚を寄付していたという。

(配布・寄付先)

- 協会会員へ900枚(各人10枚)
- 福祉・介護施設へ1,030枚
 - ・会員関係先=アトリエ窓、ライフコミュニケーション上大岡、特別老人ホーム野庭苑、舞岡の風、港南福祉ホーム第2ひまわり、在日中国人へ700枚
 - ・朝日新聞関連=都築シニアセンター、そよかぜの家、寿支援者交流会へ330枚



横浜中華街「龍鳳酒家」

挺住!!! 横浜中華街
挺住!!! 王府井酒家 (協会法人会員)

(挺住=耐え、頑張ろう)

皆さん、stay home・外出自粛、「三密」防止を!

◆出前、宅配(冷凍・写真)歓迎◆

TEL 045-662-9201

<注文の際は「横浜日中」と教えてください>